

喪主挨拶(夫) 若くして先立つ妻

本日はお忙しいところ、妻花子の告別式にご参列下さり最後までお見送り下さりありがとうございました。また

多くの方々より「甲慰ならびに」ご香典を賜りましたこと、

この場をおかりしまして厚くお礼申し上げます。

私どもが結婚いたしましたから二十年、二人の子もやっと私どもの手を離れ、妻もこれからは好きなことをして暮らすと楽しみにしていた矢先の出来事でした。妻がまだ四十四歳にして、ガン末期と聞かされた時には大変ショックで、しばらくは仕事も手につきませんでした。しかし花子も入院中には毎日子供たちに囲まれ、これまでにない充実した日々を送らせて頂きました。先生や看護婦さんの懸命の介護で、からだの苦痛も少なく、やすらかなうちに静かに息を引き取る事が出来ました。

これまで花子は妻として母として本当によくやってくれたと思います。そしてみんなごつごつもありがとうございます。本当にありがとうございます。何よりの慰めでごつごつしました。

これから残る二人の子供と一緒に生活してまいります。何分男手一つでは、何かと不行き届きも多いことと思いが、ごつごつか、これまで同様のお付き合いを頂きますようお願いします。

皆様、本日はごつごつごつごつありがとうございました。